

研究開發生産性向上への 業務プロセス・仕組みと効率化評価・推進の考え方

～研究開発戦略と連携した研究開発活動の生産性評価・効率化の概念とアプローチ～

■日時■ 2014年 9月25日 木曜日 13:00～17:00

■会場■ 東京・麹町 企業研究会 セミナールーム

■講師■ コーポレート・インテリジェンス株式会社 代表取締役社長 武富 為嗣 氏

《講師プロフィール》

大手エンジニアリング会社、アーサー・D・リトル、AT カーニー、SAP などを経て、現在の会社設立。経営戦略、研究開発、M&A、サプライチェーンやIT のマネジメントのコンサルティングなど、20 数年の経験を有する。日本工業大学大学院技術経営研究科教授(プロジェクトマネジメント)を兼任。国際 P2M 学会理事、日本プロジェクトマネジメント協会(PMAJ)理事。マサチューセッツ工科大学スローンスクール MBA、東京工業大学工学修士、早稲田大学理工学部卒

■本セミナーの特徴■ 以下の方針・目的で本セミナーを進めます。

研究開発を効率化することは、経営者の立場からは、常に推進したい魅力的な経営課題です。一方、効率を追求するあまりに、小粒なヒット商品しか出てこないとか、研究者のインセンティブが下がるといのが、経営者が足を踏み入れることに躊躇する懸念事項です。

アップルのIpodやグーグルのロボットベンチャー買収の様にIT企業の従来の業界を超えた動きや、中国、韓国、台湾に見る新興国企業の追い上げから、日本企業の研究開発や新製品開発を聖域とはみなせなくなっています。

ここでは、研究開発を効率的に推進するための仕組み作りと、マネジメントからの全体的な視点と開発リーダからの個別プロジェクト運営の視点から、いかに研究開発を効率的に推進して、製品化へつなげるかのアプローチを提示します。その上で、研究開発の生産性や効率化の評価と進捗管理の概念とアプローチを習得し、具体的に効率的な運営が出来るようになることを目的とします。

■ご参加を頂きたい皆様■

研究開発企画・事業部門の製品開発企画や経営企画部門などにご在籍され：

- ・ 研究開発全般のマネジメントの責任者や企画部門の方
- ・ 研究開発マネジメントの効率化の仕組みを社内に導入したい方
- ・ 研究開発プロジェクトの責任者としてプロジェクトを推進している方
- ・ 現在の研究開発の評価や管理に課題を抱えている方

●参加要領●

●受講料● 1名 (税込み、資料代含む)

正会員	32,400円	本体価格 30,000円
一般	35,640円	本体価格 33,000円

●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてに FAX いただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

●申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕をご参照下さい。

●最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。ご了承ください。

一般社団法人 企業研究会

担当：早瀬 E-mail: hayakan@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

麹町 31MT ビル 2F

TEL 03-5215-3512 FAX: 03-5215-0951

141338-1001※		14・9・25 研究開發生産性向上への業務プロセス・効率化評価	
会社名			
住所	〒 —		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ	
		お名前	
e-mail			

※お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

13:00

1. 日本企業の研究開発が直面している課題

- ・ 戦略を間違えると会社をつぶす
- ・ 通用しなくなった旧来の市場での成功パターン

2. 研究開発の業務プロセスの標準化

- ・ まずは業務の標準化
- ・ 評価と承認の業務プロセスの設計

3. 市場を意識した開発マネジメント組織の構築

- ・ 市場を意識した横串の組織の活用
- ・ プロジェクトマネジメントオフィスの位置づけ

4. 戦略的な予算の配分

- ・ 上流下流での戦略的な予算の配分
- ・ ハイリスク型、ローリスク型の研究開発費の配分

5. 研究開発プロジェクトのマネジメント

- ・ アイデア創出・スクリーニングプロセスの体系化と目標マネジメント
- ・ プロジェクトのスケジューリングと進捗管理
- ・ 研究開発後期の効率的な運営

6. 研究開発部門、プロジェクトの効率性の把握と全体管理

- ・ 研究開発前期のポートフォリオによる全体最適化
- ・ 継続・中止の判定と敗者復活の仕組み
- ・ プロジェクトの全体管理
- ・ 研究開発各部門の予実管理、稼働率、生産性管理

7. 研究開発でよくある失敗

- ・ 研究者のマインド設定
- ・ いつまでも止まらない研究開発

《 質疑応答は随時 》

※講師と同業企業・同職種の方はご参加頂けない場合がございます。予めご了承ください。

休憩

休憩

17:00